

財務ハイライト

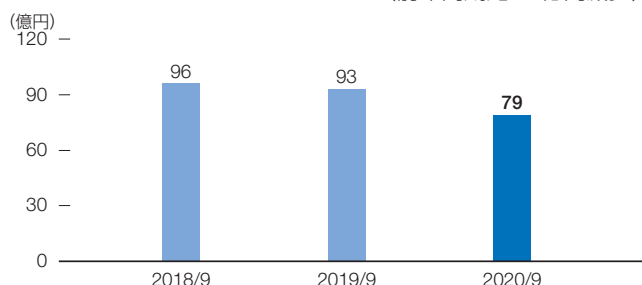
2020年度 中間決算の ポイント (連結)

- 貸出金利息等の資金利益や、債券関係損益等のその他業務利益が増加しましたが、コロナ禍によるお取引先企業の業況悪化等に伴い与信費用が増加したことなどから、経常利益は前年同期比14億円減少の79億円となりました。
- また、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比10億円減少の53億円となりました。

収益性の状況

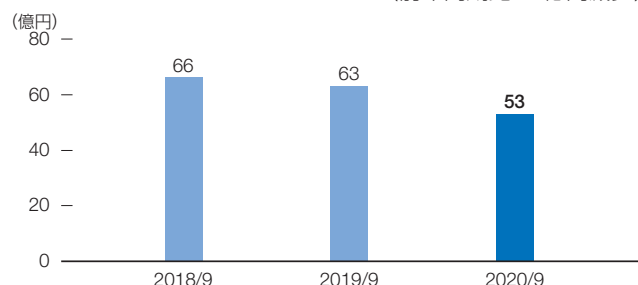
経常利益(連結)

79億円
(前年同期比 14億円減少)



親会社株主に帰属する 中間純利益(連結)

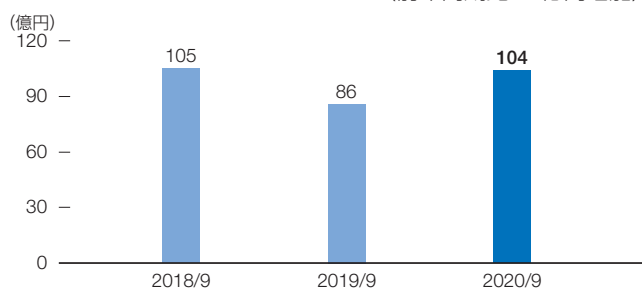
53億円
(前年同期比 10億円減少)



コア業務純益

(除く投資信託解約損益)(単体)

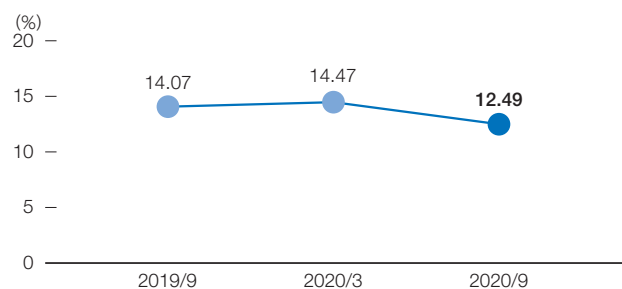
104億円
(前年同期比 17億円増加)



※本業における純粋な利益

非金利収益比率(連結)

12.49%

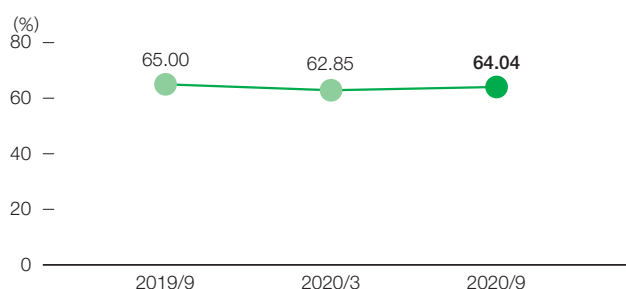


※(役員取引等利益+その他業務利益(債券関係損益を除く))/連結コア業務粗利益

効率性の状況

OHR(単体)

64.04%

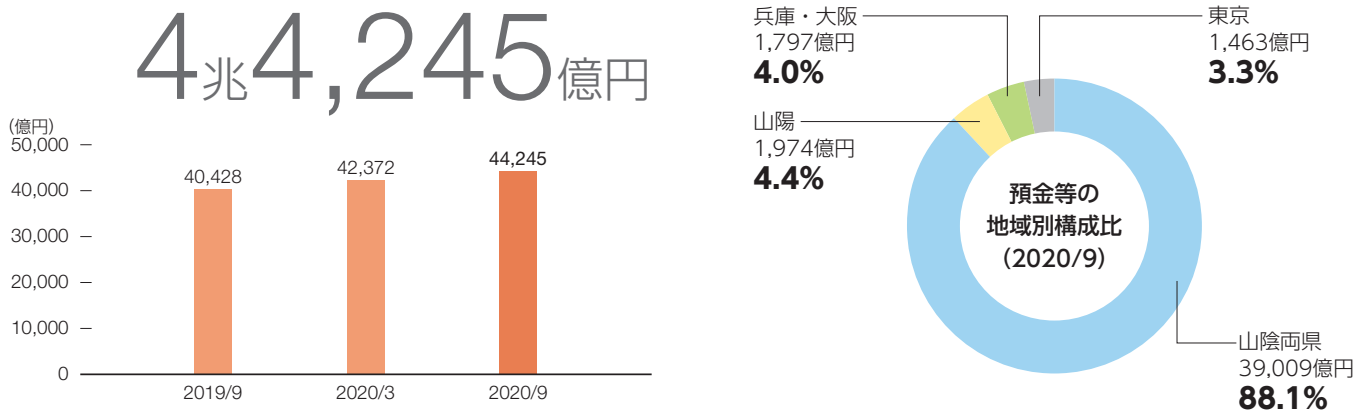


※経費/コア業務粗利益

主要勘定の状況 (単体)

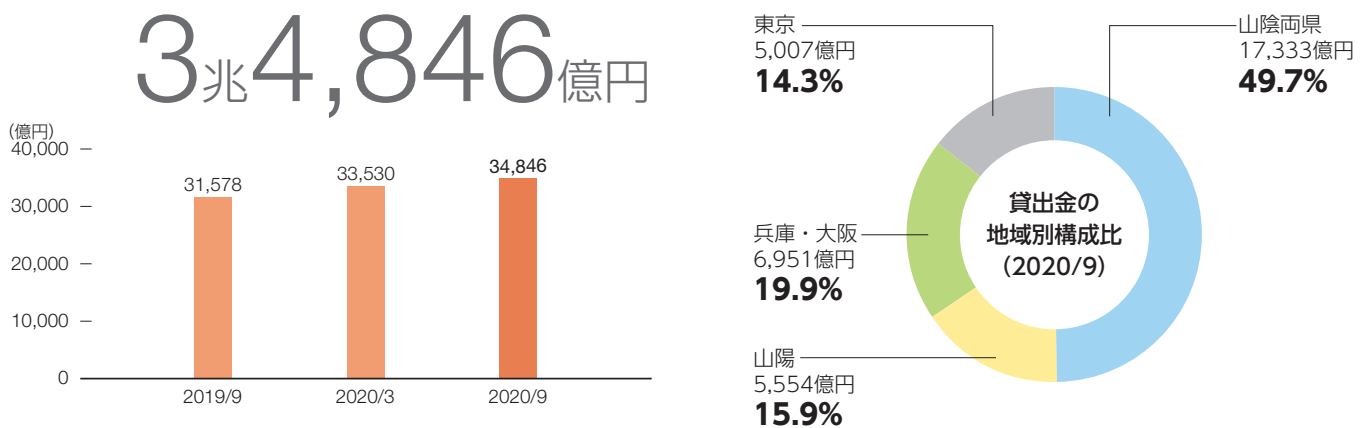
預金等* (期末残高) ※ 預金+譲渡性預金

金融機関部門で減少した一方で、個人・法人・公金部門では増加したことから、前期末比1,872億円増加の4兆4,245億円となりました。



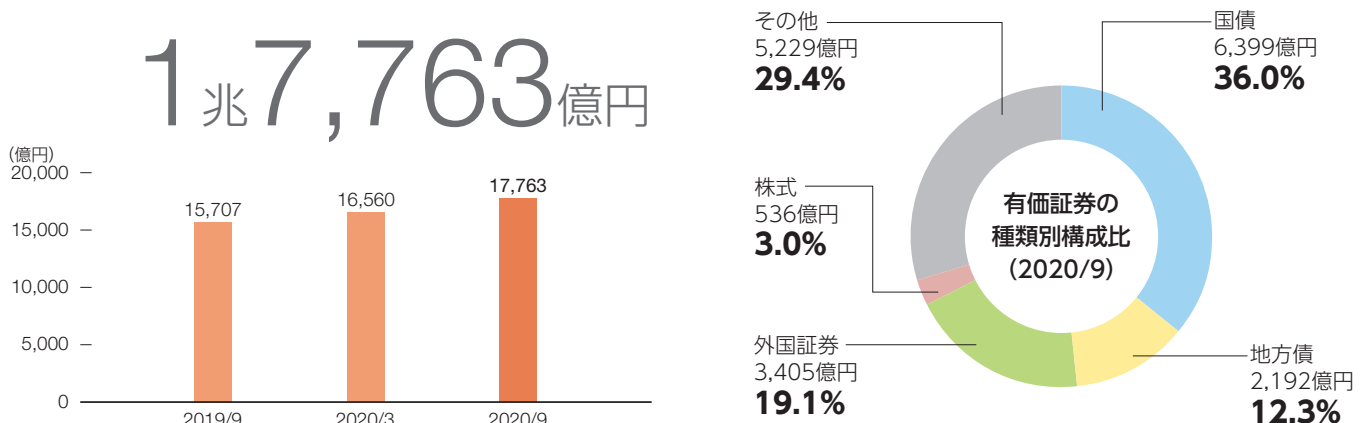
貸出金 (期末残高)

個人向け・法人向けともに増加したことから、前期末比1,316億円増加の3兆4,846億円となりました。



有価証券 (期末残高)

国債の大量償還を迎えるなかで、リスクを見極めながら市場動向に応じた適切な運用に努めた結果、前期末比1,203億円増加の1兆7,763億円となりました。



財務ハイライト

安全性・健全性の状況

自己資本比率

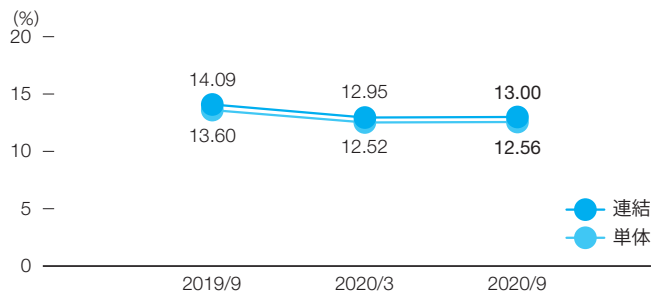
単体ベース
(国内基準) **12.56%**

自己資本比率は、引き続き高い水準を確保しています。

● 自己資本比率

銀行の健全性を測る代表的な指標の一つです。

国内基準は4%以上を維持することが求められています。



格付(単体)

A3 (長期預金格付)

ムーディーズ・ジャパン(株) (Moody's)

● 格付

企業の信用度や安全性を示す代表的な指標で、預金や債券などの元利金が約定どおりに支払われるかどうかを公正な第三者機関が客観的に評価し、その程度を簡単な記号で表したものです。

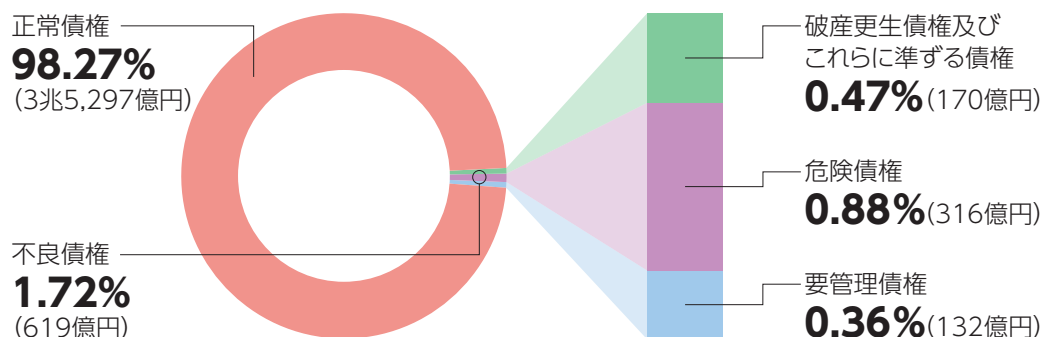
A+ (発行体格付)

(株)格付投資情報センター(R&I)

AA- (長期発行体格付)

(株)日本格付研究所(JCR)

不良債権の状況(単体)



担保・貸倒引当金によるカバー率

(単位:億円)

	金融再生法 開示債権(A)	保全額(B) (①+②)	担保等による保全額①		貸倒引当金残高②	カバー率 (B/A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	170	170	47	123	100.00%	
危険債権	316	283	165	118	89.54%	
要管理債権	132	47	25	22	36.07%	
合計	619	501	238	263	80.99%	